

機關銃小隊編成表

小隊長尉岩城忠典									
長	上	上	中	中	上	上	上	上	上
曹	伍	伍	伍	伍	伍	伍	伍	伍	伍
多	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
田	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
吉	明	明	明	明	明	明	明	明	明
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
早	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲	仲
山	田	田	田	田	田	田	田	田	田
富	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
雄	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞

總計 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七

松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原  
 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原  
 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原

球軍司令部 86号

球軍司令部 命令

四月八日

一、第三十三軍司令部附 陸軍主計中尉

徳永純一

二、同 補中三十三師團經理部附

三、同

同

大沢栄二郎

三、同 補中三十六聯隊附

四、同

同

香川俊雄

補中三十三混成中二十六聯隊附

(以上四月三日附)

陸軍少尉

陸軍衛生部員曹長

松井孝夫

陸軍衛生部員曹長

陸軍衛生部員曹長

江向五郎

陸軍少尉

陸軍衛生部員曹長

倉持文吾

陸軍少尉

陸軍衛生部員曹長

岩間副英

武山

武山



唐守臣長 山田義彦  
唐守長 井形初義  
唐守上長 近美貞夫  
山田直彦  
金田直規  
市尾金政  
小島宗雄  
官里利我  
夫久新貞  
傳保幸一  
金井宗雄  
平川行雄

唐守一上長 園田通安  
唐守衛生一上長 伊美整助  
唐守在貞 春田末吉  
河内留次郎  
軍司令部瓦斯掛將校同下長發給瓦斯掛守令久  
五 唐守部 唐守中尉 小野信男  
四月八日 唐守部 唐守中尉 唐守部瓦斯掛將校同  
下長發給瓦斯掛守令久發給唐守部  
六 四月七日 在馬城日号致傷死  
七 唐守部 上原宗昌  
將編号号水一也 唐守部 編入不  
八 要春建築中 唐守一上長 河野勇平  
原此屬進 及不能了係中三十三軍 管理部 於了勤務又入

九中五〇三特警工部局 陸軍省 東京平朝義  
 原武高進及不修多修り中三十二軍司令部 於予  
 勤務々々レ依り特編 兵部中隊ニ編入ス

會報

四月八日

一、漆内棲息長期ニ亘ルニ從ヒ漆内汚染セラレ且身  
 体抵抗力ノ減弱ト相俟ケテ下痢患者漸次發  
 生ノ水アウテ一及傳染病發生セシカ之ガ爆發的  
 蔓延ヲマカレザル狀況ニ至ケルヤキヲ以テ特ニ左  
 記ノ項ニ留意シ防疫ノ徹底ヲ期セラレヌ  
 一、飲料水ハ中五抗逆ニ注過水ヲ設備ヤナルヲ以テ  
 (八日中ニ一部使用可轉)之ガ活用ヲ計リ自後生  
 水ノ飲用ハ絶対ニ禁セラレヌ  
 二、便所ノ消毒ニ野軍部ニ於テ藥物消毒ヲ實施ヤ

ナルニ蛆虫ノ撲滅ハ煙草ノ殺最モ有効ナルヲ以  
 テ左ノ如ク擔任部底務下士及ハ吸殺ヲ蒐集シ  
 水ニ流リ覺レ毒蠟燭ニ投入セラレヌレ尚午  
 施セラレヌレ

佐少原松	丸
佐少野西	丸
田橋館岩	丸
中田藤加	丸
像家田江士	丸
尾云野中	丸
	丸
	丸

中 五 部 野 軍 部 友 部 疎 部 務 指

三、手指消毒ノ多ノ野軍部ニ於テ消毒液ヲ準備シテ  
 凡ニ付各部(班)毎ニ消毒水ヲ設備シ之ガ實施ヲ勵  
 行セラレヌレ  
 四、生野軍ハ消毒後ニ非サレハ喫食ヲ禁久之ガ為消  
 毒液ハ炊事ニ常備レ必ス之ガ消毒ヲ確實ニ行  
 フモノトス  
 二、各部ニ肝油球配布シテ凡ニ付前者ハ一日ニ二ノ三粒